

C O N T E N T S

“新たな市場創造のための展示会”「OTOTEN 2017」とは 会長 校條 亮治 P3

【2016年カンファレンス特集】

・ハイレゾ時代における測定技術・測定と聴感との一致に向けて Steve Temme P8

・変わりつつあるテレビとハイレゾ配信—その展望と今後 遠藤 真 P14

・8Kスーパーハイビジョン試験放送における音声方式 大久保 洋幸 P24

・国際標準MPEG-4ALSによるハイレゾ音源ロスレス伝送  
鎌本 優 守谷 健弘 原田 登 P27

・ハイレゾストリーミングサービス「PrimeSeat」を支える技術  
大石 耕史 富米野 孝徳 P34

・ケルン・トーンマイスターコンベンションと、ドイツでのラジオ中継や教育の現状  
長江 和哉 P44

・2017 CES ハイエンドオーディオレポート 春井 正徳 P55

・音との付き合い70年～(その4) アイワ時代 中島 平太郎 P67

【連載：「試聴室探訪記」第32回】～谷口とものり、魅惑のパノラマ写真の世界～

・録音エンジニアのゆりかご 東京藝術大学千住キャンパススタジオ訪問  
谷口 とものり・森 芳久 P80

・HS-LINK Ver.2について 陰山 大 P86

・フォスター電機のスピーカーユニット 照井 和彦 JAS 事務局長 P89

【JAS インフォメーション】

・第5回(2月度)理事会報告・運営会議報告 P96

3月号をお届けするにあたって

今年は寒暖が繰り返し、なかなか春を実感できませんでしたが、ようやく桜の便りも聞こえてきたようです。本号ではまず5月に開催予定の新生「音展」について、校條会長からのご挨拶をお伝えいたします。特集は昨秋に行われたJASカンファレンスです。当日ご登壇いただいた方々より、最新のオーディオ伝送技術の進歩等について、大変興味深い記事を複数寄稿いただきました。

昨年「欧州におけるトーンマイスター教育について」を寄稿いただいた名古屋芸術大学の長江先生に、ドイツのトーンマイスター・コンベンションに参加された様子をご報告いただきました。1月にラスベガスで行われたCESでのハイエンド・オーディオ関連の展示について、パナソニックの春井氏にレポートしていただきました。中島平太郎氏の連載「音との付き合い70年」は第4回です。

試聴室探訪記は、東京藝大の録音スタジオを訪れました。録音技術やエンジニアの教育に使われる、本格的なスタジオ設備を記事と併せてご覧ください。DSD信号の伝送にも使える「HS-LINK Ver.2」の解説をアキュフェーズの陰山氏に寄稿いただきました。スピーカーの老舗、フォスター電機の工場訪問記を照井事務局長に寄稿いただきました。

☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

(委員長) 君塚 雅憲 ((独法) 国立科学博物館)

(委員) 穴澤 健明・稲生 眞 ((株) 永田音響設計)・遠藤 真 (NTT エレクトロニクス (株))

大久保 洋幸 ((一財) NHK エンジニアリングシステム)・高松 重治・春井 正徳 (パナソニック (株))・森 芳久  
八重口 能孝 (オンキヨー&パイオニアマーケティング (株))・山内 慎一 ((株) ディーアンドエムホールディングス)・山崎 芳男 (早稲田大学)